



学校通信第6号

# 鬼中だより

平成27年6月9日（火）

藤岡市立鬼石中学校

発行 佐藤 裕彦

0274-52-2750

ホームページ

## いじめ問題解決に向けた教育懇談会ではお世話になりました! 5/27



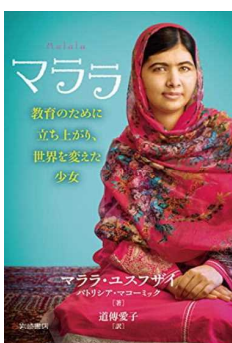
夜の開催にも関わらず、鬼石地区教育懇談会には多くの方が参加してくださいましたこと、感謝申し上げます。この教育懇談会は、行政・学校・家庭・地域が協力して、子どもたちが笑顔でいきいきと活動できるようにとのねらいで開催されています。

▶ 参加者からは、次のようなお話がありました。

- 挨拶・地域行事を通じて、子どもたちと関わること（「〇〇さんちの子だね。」「おはよう」「気をつけて帰りなさい。」）が大切であること
- 音読や歌、社会体育に参加し、子どもの精神状態や学校での様子の把握、日々の成長を感じ取るようにしていること
- 子どもの普段の生活はゆったり構えて見ているが、うそやごまかしは徹底して叱るようにしていること
- LINEは小学生の段階から問題視して、家庭でも考えていくこと
- 縦割り班活動で、異年齢の子どもたちが次第に打ち解けていくのが、子どもの会話から判断できること
- ▶ 学校からは、次のこととお話ししました。
- 鬼石地区3校での未然防止の取り組み状況
- 学校・家庭・地域一体となって、見守る活動をお願いしたいということ
- 子どもたちは学校でよいことをしているので、家庭に知らせる努力をすること
- 現在、いじめ問題は沈静化していること

また、資料では紹介できませんでしたが、授業や部活動で、いじめの原因を教師が作らない努力も続けています。

## 生き方に学ぶ【マララ】



5月の講話では、マララ・ユスフザイさんを取り上げました。

5月の生活目標は「目標を持って勉強や部活動を頑張ろう」でした。その具体行動目標に「中間試験に向けて努力しよう」というものがあります。勉強なんて嫌いだと叫びたい人もいるかも知れませんが、今回は、大好きな勉強を禁止されたパキスタンの少女の「闘い」を紹介しました。講話に使用した本「マララ」の読書希望者は5月中だけで、18名にもものぼり、読書への関心の高さには今回も驚かされています。

## 児童虐待防止標語の募集（～6/16） 厚生労働省・文部科学省

- 児童虐待問題に対する理解を国民一人ひとりが深め、主体的な関わりを持てるよう、意識啓発を図ることを目的とする。
- どなたでも応募可。一人につき1作品応募可能（未発表作品）
- 作品と郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入→郵送かメールで応募
- 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地  
川崎市役所 市民・子ども局 こども本部 児童家庭支援・虐待対策室  
標語募集担当 宛 (6/16 当日消印有効)
- jidou-hyougo@city.kawasaki.jp



## 鬼石地区3校が歯と口の健康作りの指定を受けました！

「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業（各都道府県1つの学校または地域・2年間指定）」は、平成19年度から日本学校歯科医会が実施している事業です。

この事業は、子どもたちが自分の歯や口の健康状態に関心を持ち、健康上の問題について自ら考え、歯みがきや食生活などの生活習慣を主体的に改善できる資質や能力など「生きる力」を身につけ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送る基礎を培うことをねらいとしています。

資料 日本学校歯科医会HP



イラスト出典 邯鄲の夢ブログ

- 3校で取り組む課題 【むし歯や歯周病の予防方法の理解と実践】
- 実践内容（予定）

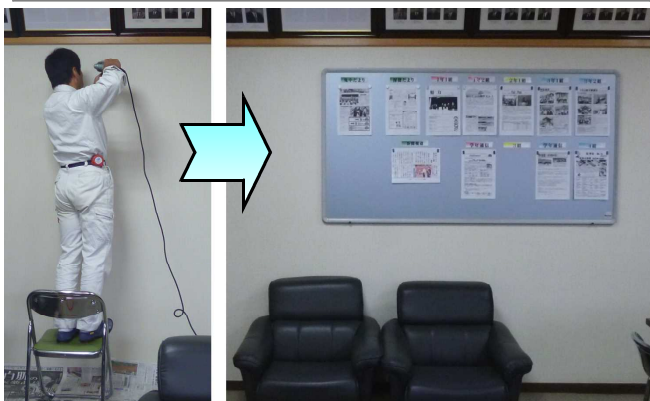
- ・歯と口の健康に関する実態調査
- ・外部講師による歯科保健指導 ・発達段階に応じた歯磨き指導の充実
- ・小中合同学校保健委員会の開催と家庭や地域との連携
- ・基本的な生活習慣の改善を通じた口腔内への健康指導の実践

\*藤岡市歯と口の健康啓発標語の部で受賞

優秀賞 **歯の健康 まずは歯みがき 食生活** 2年 KNくん  
KNくんの作品は県出場となります。

なお、小学校低学年ポスターの部では鬼石北小学校の児童が最優秀賞と優秀賞に輝き、県出場が決まりました。ともに、指定地区として幸先の良いスタートとなりました。

## 感謝の思いでいっぱいです!! 6/6



校長室には学級通信を掲示できる場所がありません。窮状を知った市役所が白板を見つけてくださいました。日曜大工で設置と考えていましたが、設置場所がコンクリート壁でした。上手に設置する自信もありませんし、予算もありませんので、再び暗礁に乗り上げた感がありました。そんな時、本校生徒の保護者である山田建設さん(譲原)に相談したところ、設置を快く引き受けてくださいました。学校は、多くの方々に支えられています。有り難いことです。